

第 374 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 29 年 12 月 5 日（火） 13 時 30 分～16 時 20 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 2017 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議への対応
- (2) IFRS 第 16 号「リース」のエンドースメント手続
- (3) 実務対応報告公開草案「実務対応報告第 34 号の適用時期に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】
- (4) 実務対応報告公開草案「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】
- (5) 収益認識会計基準に関する公開草案に寄せられたコメントへの対応
- (6) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討
- (7) 適用後レビューの実施計画案
- (8) 専門委員の選退任

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 2017 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議への対応

小賀坂副委員長及び川西常勤委員より、2017 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議の議題のうち、共通支配下の企業結合について説明がなされ、第 62 回 ASAF 対応専門委員会（平成 29 年 12 月 4 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (2) IFRS 第 16 号「リース」のエンドースメント手続

小賀坂副委員長及び丸岡専門研究員より、IFRS 第 16 号「リース」のエンドースメント手続について説明がなされ、第 39 回 IFRS のエンドースメントに関する作業部会（平成 29 年 11 月 20 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (3) 実務対応報告公開草案「実務対応報告第 34 号の適用時期に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】

小賀坂副委員長及び西田ディレクターより、実務対応報告公開草案「実務対応報告第 34 号の適用時期に関する当面の取扱い（案）」について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、賛成 13 名、反対 1 名により、公表することが承認された。

- (4) 実務対応報告公開草案「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】

小賀坂副委員長及び西田ディレクターより、実務対応報告公開草案「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い（案）」について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(5) 収益認識会計基準に関する公開草案に寄せられたコメントへの対応

小賀坂副委員長及び川西ディレクターより、企業会計基準公開草案第 61 号「収益認識に関する会計基準（案）」及び企業会計基準適用指針公開草案第 61 号「収益認識に関する会計基準の適用指針（案）」に寄せられたコメントへの対応について説明がなされ、第 87 回収益認識専門委員会（平成 29 年 12 月 4 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(6) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討

小野委員長及び川西ディレクターより、金融商品の公正価値測定に関するガイダンス及び開示について国際的な会計基準と整合性を図ることの必要性、2017 年 12 月開催会計基準アドバイザリー・フォーラム（ASAF）会議の議題のうち IFRS 第 13 号「公正価値測定」の適用後レビューについて説明がなされ、第 122 回金融商品専門委員会（平成 29 年 11 月 21 日開催）における検討状況も踏まえて、審議が行われた。

(7) 適用後レビューの実施計画案

小賀坂副委員長及び西田ディレクターより、開示に関する適用後レビューの実施計画案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、適正手続監督委員会に報告することが承認された。

(8) 専門委員の選退任

小野委員長より、実務対応専門委員会の専門委員の選退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続を行うこととされた。

以 上